



異文化コミュニケーション学会

SIETAR Japan 1月新年おめでとうワークショップ

開催日時：2024年1月20日（土）14:00～16:00

方法：対面（In Person）

場所：東洋大学 白山キャンパス

東洋大学 白山キャンパス 〒112-0001 東京都文京区白山5丁目28番20号

教室番号：8B11～8号館地下1階食堂向かい

アクセスマップ：<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/about/campus/akabanedai/access.html>

【参加費と申し込み】

Peatixからお申込みください。

Peatix: <https://sietar20240120.peatix.com>

参加費：

チケット（非会員）：2000円

チケット（会員）：1500円

チケット（学生）：250円

◇ お申し込みが確認された方には後程、詳細をご連絡します

◇ なお、17時ごろからは新年会を白山で開く予定です。そちらもご参加ください。

講師の紹介：Mr. Baye McNeil（バイエ・マクニール氏）

Baye McNeil氏は、ニューヨーク州ブルックリンで生まれ育った作家、コラムニスト、講師、そして、活動家です。彼は現在横浜で妻と暮らしています。

McNeil氏は、日本に住むアフリカ系外国人として、日本での生活についてクリティカルな視点からの著書を2冊出版しています。また、ジャパントイムズにコラム「ブラック・アイ」が掲載されています。そのコラムでは、アフリカ大陸からの移住してきた有色人種を紹介するとともに、日本での黒人の生活や現代の出来事について彼自身の考察を述べています。また、日本各地の大学や企業、団体で、日本での黒人体験、人種問題、人種差別、ダイバーシティとインクルージョンの問題などについての講義やワークショップを行っています。

また、2015年にはフジテレビに対して、芸能人が顔を黒く塗って黒人のモノ真似をすショーの放映を阻止する嘆願書を提出し成功を収めました。さらに、2018年には日本テレビがその年に最も視聴された番組で有名なコメディアンが顔を黒く塗って出演させたとして、同社を非難する活動の先陣をきりました。こうした彼の行動はニューヨーク・タイムス紙など世界中の多くのメディアで取り上げられ、ワシントン・ポスト紙などのメディアでOp-Eds（オプエド：社説などに対して社外の人が反論を寄稿すること）を行っています。」

ワークショップの概要：日常生活における思い込みを軽減しよう！：なぜそれが重要なのか？

このワークショップの目的は、私たちが他者、特に異なる人種、民族、国籍の人々（また、同じような背景を持つ人々）に対して抱いている思い込みについて考えることです。日本社会がグローバル化し、外国人と交流する機会が増えるにつれ、人々はこれからの課題に備えることが重要になってくるでしょう。そして、その課題のひとつが、効果的で思い込みのないコミュニケーションを通じて外国人と関係を築くことになります。このワークショップでは、実社会で思い込みがどのように作用し、それがどのような問題を引き起こすかを、エピソードを交えて紹介します。このワークショップが役に立つと思われる理由としては、A) 例えば、外国人とのコミュニケーションや人間関係の構築が求められる国際的な企業に就職を希望している場合。B) 交換留学やホームステイプログラムに参加する場合。C-) パンデミック緊急事態が終息して以来、来日する多くの外国人観光客に対して。D) 会社があなたを海外に派遣し、海外オフィスで働かなければならない場合。E) 楽天や最近ではホンダのように、グローバル市場での地位を強化するために英語を公用語とする企業についても。そして、グローバル化に対応できる頭脳を持った人材を採用しようとしている企業を考える場合。つまり、私たちの思い込みを減らすことが、よりグローバルな視野を獲得し、無限のチャンスに心を開くことにつながるのです。

問い合わせ先 (Please contact) : プログラム委員長 (program directors) :

鈴木有香 (日本語) エイティム ソイハン (English) programs@sietar-japan.org